

はじめませんか？  
ふうせん  
バレーボール



だれ さんか  
誰もが参加できる「ふうせんバレーボール」は  
きたきゅうしゅうしたんじょう  
北九州市で誕生したスポーツです。

おも しょうがい  
重い障害のある人も  
いっしょ  
一緒にできるスポーツが  
あったらいいな・・・



1989年10月、北九州市でひとりの障害のある人の“つぶやき”から

“ふうせんバレーボール”は生まれました。

これまでの障害者スポーツは、障害のある人たちだけでプレーするものが多く、  
また、自分の意志や自力で動けない人が参加できるものはほとんどありませんでした。

そこで、病院や施設、障害関係の団体などでリハビリや

レクリエーションとして行われていた『風船を使った運動』を

障害のある人とない人が一緒に出来るスポーツへと発展させ、

誰もが参加できる『ふうせんバレーボール』が誕生しました。



# ■ふうせんバレーはこんなスポーツです

しょうがい 障害のある、なしに関わらず、子どもから高齢者まで、一緒にプレーできる6人制のバレーボールです。

ボールが自コートに入ってからチーム全員がボールにタッチし、10回以内に相手コートへ返します。

15点先取するか、規定時間内に多く得点したチームの勝ちとなります。

動きに制限のある障害のある人や高齢者にも確実にプレー機会があるのでチームワークが最重要視されます。



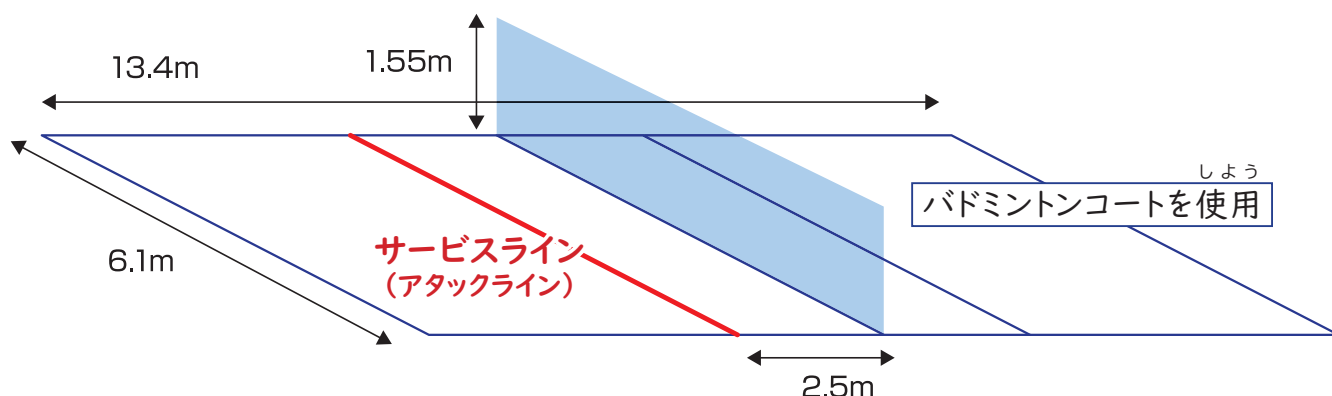
10回以内にチーム全員がボールにタッチし、相手コートに返します。



しあいほうほう

## 試合方法

- ① 試合は1セットマッチで、チェンジコートはしません。
- ② 試合時間は、原則として20分間です。
- ③ 得点はラリーポイント制で、サーブ権の有無に関係なく加算され、15点先取で勝ちとします。ただし、時間との併用ルールですので、試合時間終了時点でも勝敗を決めます。





# ボール (ふうせん すず (風船と鈴のセット))

すず こい  
鈴を2個入れる▶  
め ふじゅう かた  
(目の不自由な方が  
おと  
音をたよりにプレーす  
るための工夫です。)  
むす くち は  
結び口にテープを貼る▶



よう つく おお  
バレーボール用に作られた大きめのよくは  
むふうせん にゅうしゅほう にほん  
む風船です。入手方法は日本ふうせんバレー  
ボール協会 きょうかい たす  
にお尋ねください。

ホームページ <https://nihon-fusen.jimdofree.com/>

みんなで  
たの  
楽しめるようにルールが  
くふう  
工夫されています



## チーム構成

こうせい  
ハンディレベル(HL)を定めています。

ない にん ごうけい い か こうせい  
コート内の6人はハンディレベルの合計が18以下になるよう構成すること。

- きほんてき お う どうさ かいじょ ひつよう ていど おう  
基本的には、ボールを追ったり、打つ動作の介助を必要とする程度に応じてレベルを定め、  
こうせい てきおう きじゅん  
チーム構成やルール適応の基準とします。

| めい しょう<br>名 称     | ハンディレベル (HL) | ひつよう かいじょ ていど<br>必要な介助の程度                         |
|-------------------|--------------|---|
| ハンディプレーヤー (HP)    | レベル1         | ぜんめんてきかいじょ<br>全面的介助                               |
|                   | レベル2         | ぶぶんてきかいじょ<br>部分的介助                                |
|                   | レベル3         | かいじょ ひつよう<br>介助の必要がない<br>(たんどく かのう<br>単独でのプレーが可能) |
| アドバンテージプレーヤー (AP) | レベル4         | しょうがい ひと<br>障害のない人                                |

こんなハンデの  
つけ方も・・・

たいかい  
大会などでなければ、レベルを合わせるた  
め、いろいろ工夫してみてください。



アイマスクをする



すわ  
座ったままプレー

# サーブ

## AP [アドバンテージプレーヤー]

しょうがい  
(障害のない人)

APはサービスラインの後方から、HPは任意の場所から行います。ただし、HPで打ち込みのできる立位のプレーヤーは、サービスラインの後方からサーブを行います。

サービスライン



アシスト



サーブはゼッケン1番から順に行います。ただしサーブ権は、得点が入るたびに相手チームへ移動します。  
(サーブ交互制)

## HP [ハンディプレーヤー]

しょうがい  
(障害のある人)

HPは、同チームの選手からトスのアシストとサーブ後に1打のアシストを受けることができます。また、ボールを投げ入れても構いません。

# 勝敗

### 1 リーグ戦の順位決め方

(1) 勝ち点の多いチーム

(勝・・・3点、引き分け・・・1点、負・・・0点)

(2) 得失点差

(3) 得点の多いチーム

以上のすべてが同点の場合は、  
代表者1名のジャンケンとします。

### 2 試合終了時点で同点の場合

- ・リーグ戦は引き分け
- ・トーナメント戦は、試合を止めずに点差がつくまで続けます。

### 3 試合を棄権した場合は、 0対15の負けとなります。



## 勝敗も大事ですが...

チーム全員がボールを打ってから相手に返す競技です。重度の障害がある方の中にはほとんど動けなかったり、全介助が必要な選手もいます。しかし、みんな、ボールを打ちたいし、打っているのです。その気持ちを理解してパスを行ってください。HPに当てるようなパスが、「ナットパス」という反則になっているのはそのためです。





# ふうせんバレーの心を

## 北九州市から全国へ、 そして世界へ発信

### ふうせんバレーのこれまでとこれから

障害の有無や程度に関係なく、みんなが一つのコートの中でひとりの選手として一緒に汗を流す。私たちは、『ふうせんバレーボール』を広めていく活動を通して、ふれあいの輪づくりと障害のある人の社会参加を進め、『誰もがともに生きる社会』の実現を目指しています。



## 北九州市から全国に発信して広がる輪

- 1989年 …… ふうせんバレーボールの誕生。
- 1990年 …… 『ふうせんバレーボール振興委員会』発足。初めての『全国大会』を開催。  
北九州市、田川市、山口県から14チームが参加。
- 1994年 …… 初めての『北九州大会』を開催。
- 1998年 …… 『日本ふうせんバレーボール協会』設立。鹿児島・大分・長崎・福岡の四県の団体が加盟。
- 2008年 …… 『北九州市長杯 小学生ふうせんバレーボール大会』開催。  
『第8回全国障害者スポーツ大会(大分県)』でオープン競技として紹介。
- 2014年 …… 『第14回全国障害者スポーツ大会(長崎県)』でオープン競技として紹介。
- 2017年 …… 『全国大会』に初めて海外チーム(ソウル特別市体育チーム)が参加。



1990年以降毎年、北九州市で『全国ふうせんバレーボール大会』が開催されています。毎回選手約500人が集合して技を競い、ボランティアのスタッフ約200人がそれを支えています。

# きたきゅうしゅうしない ていきたいかい 北九州市内での定期大会

- 6月 <sup>が</sup> <sup>きたきゅうしゅうたいかい</sup> <sup>しゅさい</sup> <sup>にほん</sup> <sup>きょうかい</sup> <sup>きたきゅうしゅうし</sup> <sup>ぶ</sup>  
ふうせんバレーボール北九州大会（主催：日本ふうせんバレーボール協会北九州支部）  
<sup>かいじょう</sup> <sup>しりつ</sup> <sup>そうごう</sup> <sup>たいい</sup> <sup>かん</sup>  
会場：市立総合体育館
- 6月 <sup>が</sup> <sup>しみん</sup> <sup>たいこう</sup> <sup>たいかい</sup> <sup>しゅさい</sup> <sup>しみん</sup> <sup>ふうせん</sup> <sup>きょうかい</sup>  
市民センター対抗大会（主催：市民風船バレーボール協会）  
<sup>かいじょう</sup> <sup>しりつ</sup> <sup>わかまつ</sup> <sup>たいい</sup> <sup>かん</sup>  
会場：市立若松体育館
- 10月 <sup>が</sup> <sup>しみん</sup> <sup>ふうせん</sup> <sup>きたきゅうしゅうたいかい</sup> <sup>しゅさい</sup> <sup>あ</sup> <sup>のう</sup> <sup>かく</sup> <sup>しゃ</sup> <sup>かい</sup>  
市民風船バレーボール北九州大会（主催：穴生学舎やまびこの会）  
<sup>かいじょう</sup> <sup>しりつ</sup> <sup>あ</sup> <sup>のう</sup>  
会場：市立穴生ドーム
- 11月 <sup>が</sup> <sup>ぜんこく</sup> <sup>たいかい</sup> <sup>しゅさい</sup> <sup>にほん</sup> <sup>きょうかい</sup>  
全国ふうせんバレーボール大会（主催：日本ふうせんバレーボール協会）  
<sup>かいじょう</sup> <sup>しりつ</sup> <sup>そうごう</sup> <sup>たいい</sup> <sup>かん</sup>  
会場：市立総合体育館
- 1月 <sup>が</sup> <sup>きたきゅうしゅうし</sup> <sup>ちやうはい</sup> <sup>しょうがく</sup> <sup>せい</sup> <sup>たいかい</sup> <sup>しゅさい</sup> <sup>きたきゅうしゅうし</sup>  
北九州市長杯小学生ふうせんバレーボール大会（主催：北九州市）  
<sup>かいじょう</sup> <sup>しりつ</sup> <sup>そうごう</sup> <sup>たいい</sup> <sup>かん</sup>  
会場：市立総合体育館

※ 大会によっては、基本ルールを参加者の状況に応じてアレンジし、開催しています。開催時期・会場等については変更となる場合があります。詳細は主催者または日本ふうせんバレーボール協会へお問い合わせください。

## かいがい む はっしん おこな 海外に向けての発信も行っています

1993年に英語版のルールを作り、2010年には、日本ふうせんバレーボール協会のスタッフがドイツへ渡り、ふうせんバレーボールを紹介。ドイツの障害者スポーツの権威故ホースト・ストローケンデル博士他、現地での高い評価を得ており、現在、ドイツや韓国など、海外でもふうせんバレーが広がりを見せています。障害のある人ない人が一緒にいることが当たり前という、ふうせんバレーの心をコートから地域へ、地域から社会へと広め、いつの日か・・・

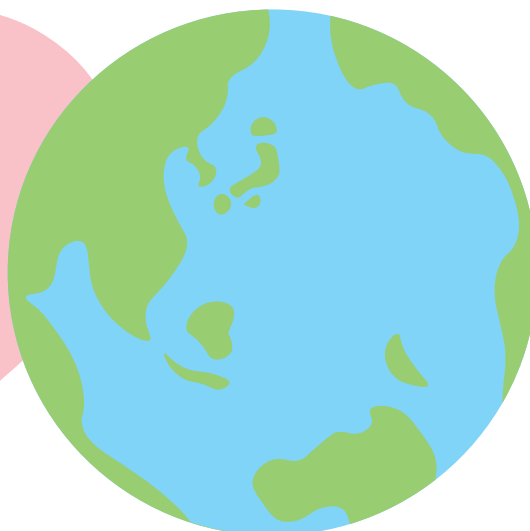


せかい ひと ひと  
世界の人と人

くに くに  
国と国との

か はし  
架け橋になることを

ねが  
願っています。





# はじめてみよう!

にほん きょうかいぎたきゅうしゅうし ぶ い か かいじょう  
日本ふうせんバレーボール協会北九州支部では以下の会場で  
れんしゅう おこな  
練習を行っています。  
なかま はい  
あなたも仲間に入りませんか?

● しょうがいしゃ  
**障害者スポーツセンターアレアス**

きたきゅうしゅうしこくらぎたくさぶろうまる ちょうめ ばん ごう  
(北九州市小倉北区三郎丸3丁目4番1号)

まいつきだい どうようび だい にちようび じ じ  
毎月第1・3土曜日、第2日曜日の13時～16時

● くろさきたいいくかん  
**黒崎体育館**

きたきゅうしゅうしやはたにしくふじた ちょうめ ばん ごう  
(北九州市八幡西区藤田4丁目1番1号)

まいつきだい にちようび じ じ  
毎月第1・4日曜日の13時～16時

よてい へんこう ばあい  
予定は変更になる場合があります。  
くわ にほん きょうかい  
詳しくは日本ふうせんバレーボール協会に  
と あ  
お問い合わせください。

かんしゅうにほん きょうかい  
監修:日本ふうせんバレーボール協会

〒802-0061 きたきゅうしゅうしこくらぎたくさぶろうまる ちょうめ ばん ごう  
北九州市小倉北区三郎丸3丁目4番1号  
きたきゅうしゅうししょうがいしゃ きづけ  
(北九州市障害者スポーツセンター気付)

でんわ  
電話:080-4310-4511 FAX:093-383-7854

ホームページ: <https://nihon-fusen.jimdofree.com/>

はっこうきたきゅうしゅうしほけんふくしきよくしょうがいふくしきかくか  
発行:北九州市保健福祉局障害福祉企画課

〒802-8510 きたきゅうしゅうしこくらぎたくじょうないばん ごう  
北九州市小倉北区内1番1号

でんわ  
電話:093-582-2453 FAX:093-582-2425